# 第 4 回 QC サークル指導士フォローアップ研修会開催報告

2012 年 1 月 28 日、日科技連･東高円寺ビル 2 階講堂で、第 4 回 QC サークル指導士フォローアップ研修会を開催しました。

本研修会は、当初 2011 年 3 月 12 日に開催予定でしたが、開催前日の 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響を受けて延期となり、約 10 ヵ月遅れて開催しました。
本研修会は、QC サークル活動のさらなる普及と発展のために、指導･育成にあたる QC サークル指導士の方々の相互研鑽（新たな知識習得など学習機会の提供）、指導士相互の交流･情報交換をしていただく場として、開催しております。

今回は全国から 70 名の QC サークル指導士の方々がお集まりになり、厳しい経営環境の中での QC サークル活動推進上の工夫や指導方法と QC サークル指導士の重要な役割について、上級指導士の元サンデン㈱深澤行雄氏に具体的な事例をもとにご講演いただきました。
その後「QC サークル指導士奮闘記」と題し、指導士としてどのような活躍をされてこられたか、企業で指導士の資格を活用し上手くいった点、失敗した点、問題解決のために工夫した点などを 3 社の方にご発表いただき、とても熱気にあふれたものでした。

## プログラム

| 時間 | 内容 |
|---|---|
| 13:00～13:05 | 開催挨拶：(財)日本科学技術連盟 |
| 13:05～14:20 | 講演：「QC サークル活動の推進と QC サークル指導士の役割」<br>深澤行雄氏（元サンデン㈱STQM 本部 部長） |
| 14:35～16:20 | 事例発表：テーマ「QC サークル指導士奮闘記」<br><br>司会：中條武志氏（中央大学 教授、QC サークル運営委員会委員長、<br>QC サークル指導士資格審査委員会委員長）<br>事例発表：堀　展輝氏（静岡製機㈱ CS 推進部 CS 推進課）<br>細谷健一氏（㈱日立ハイテクフィールディング CS 経営戦略本部<br>CS 推進センタ ACT ドクター）<br>井上　徹氏（㈱日立ハイテクフィールディング CS 経営戦略本部<br>CS 推進センタ センタ長）<br>小林隆廣氏（㈱マルイチ産商 情報システム部 システム運用･管理チーム<br>チームリーダー） |
| 16:30～17:30 | 情報交換会（懇親会） |

## 講演　QC サークル活動の推進と QC サークル指導士の役割

**深澤 行雄 氏　元サンデン㈱**

日科技連の定例セミナーである「QC サークル管理者コース」運営小委員会委員長をはじめ、QC サークル本部幹事を務めている元サンデン㈱　深澤行雄氏から、「QC サークル活動の推進と QC サークル指導士の役割」と題し、ご講演をいただきました。

冒頭の自己紹介では、深澤氏が尊敬するという西堀栄三郎先生のお話がありました。書籍『南極越冬紀』、音楽では「雪山賛歌」という歌も作詞されており、群馬県の鹿沢温泉で作詞されたということで、深澤氏出身の“群馬県”のつながりがあります。また、西堀先生は色々な場面で多くの格言を残されており、その格言はQC サークル活動に繋がるのではないかと深澤氏は確信しております。ちなみに「西堀かるた」として格言集を残されているそうです。また、西堀先生と深澤氏は、なんと誕生日が同じであり、本研修会を開催した1月28日がまさに深澤氏の誕生日でした。このようなお話からはじまり、会場を和ましてからのスタートとなりました。

今年誕生50周年を迎えるQC サークル活動について、活動の質の低下に着目し、ご自身の実体験をベースに「活動を行うことが目的!?」「過度な形式化」「なんのためにQC サークル活動をやるの」といった問題提起がなされました。QC サークル活動は“自主的”活動という言葉を“隠れ蓑”に関わりを避けてきた点を指摘し、サークルが自主的に活動できるまでの間、管理者やスタッフの指導･支援の必要性を強く訴えられました。

●ＱＣサークルとの関係●

1989 年（Ｈ 1 年）　サンデン(株)全部門の小集団活動「ACTION21」の企画・立上げ・運営を担当。以後、2000 年（H12 年）まで全社推進事務局長を担当。

1992 年（Ｈ 4 年）　ＱＣサークル関東支部群馬地区幹事就任

1999 年（H11 年）　ＱＣサークル関東支部群馬地区幹事長

2005 年（H17 年）　ＱＣサークル関東支部副幹事長

2006 年（H18 年）　ＱＣサークル関東支部幹事長

(財)日本科学技術連盟「ＱＣサークル管理者コース運営委員長」、ＱＣサークル関係セミナー主要講師を務める。ＱＣサークル本部幹事、ＱＣサークル上級指導士

また、何のためにQC サークル活動を行うのかということに着目したお話もあり、ある会社からこのような依頼があったそうです。

「今年からQC サークル活動を開始しますので、まずQC 手法の研修からやってください」

これは活動をQC 手法ありきりで考えており、基本理念や目的がおざなりになっていると考えられ、QC サークル活動によって“やる気”“やる腕”を備えた「できる人」の集団を実現し、職場の活性化、経営に貢献といった目的の必要性が重要であるといった内容でした。

最後に、QC サークル活動のカギとして、推進者（管理者、世話人、事務局）の信念･情熱をあげられました。

## 実践事例１　～QC サークル活動活性化のための体制を整える～

**静岡製機(株)　ＣＳ推進部　ＣＳ推進課　堀　展輝　氏**

実践事例１は、静岡製機(株) CS 推進部 CS 推進課 堀展輝氏にご発表いただきました。

静岡製機(株)の創業は大正 3 年、人と自然との対話を支える技術を開拓し続け、現在も次代のニーズに対応するべく研究を続けられている会社です。

QC サークル活動は、「社内の能力を開発 ききがいのある職場づくり 品質管理活動への積極的参画」を目的として展開されています。2011 年度は「テーマ数プラスワン」を中心として推進されています。また、重点事項の１つとして「営業部長の指導力向上」をあげ、日科技連のｅラーニング受講の紹介もありました。最後に「事務局として、QC サークル指導士として、これからも継続的にQC サークル活動を支援する全社の旗振り役として会社を盛り立てていきたい」との決意が述べられました。

## 実践事例２　～お客様満足のため「ACT プラス１活動」～

**(株)日立ハイテクフィールディング　CS 経営戦略本部 CS 推進センタ**
**ACT ドクター　細谷 健一 氏**
**センタ長　井上　徹 氏**

実践事例２は、(株)日立ハイテクフィールディング CS 経営戦略本部 CS 推進センタ センタ長井上徹氏、ACT ドクター細谷健一氏にご発表いただきました。(株)日立ハイテクフィールディングは、全国に 46 拠点あり、主に半導体計測･検査装置、生化学自動分析装置など開発されております。

お客様満足のため「ACT プラス１活動」（Attitude お客様の立場で考える姿勢と誠意、Cost Performance 社内外の業務を合理化し、お客様の利益を増やす、Technology プロとして誇れる仕事をする）を目的とし、お客様の意見を聞いて整理し対策の手段として定義されております。この活動をするにあたって「沖縄大会へ行こう」というスローガンを抱えて日々活動されております。また、システムを活用し、「チーム名」「チームエリア」「活動内容」といった情報を見える化されており、大変参考になる発表でした。

## 実践事例３　～手作りの QC サークル活動 現在進行形～

**(株)マルイチ産商**
**情報システム部 システム運用･管理チーム**
**チームリーダー　小林 隆廣 氏**

実践事例３では、(株)マルイチ産商情報システム部システム運用･管理チーム チームリーダー小林隆廣氏に発表いただきました。(株)マルイチ産商は、1951 年に設立し、主に総合食品卸売業として上場水産卸売業売上高では全国３位の実績をお持ちです。

今期８年目を迎える QC サークル活動について、手作りの QC サークル活動現在進行形！とテーマを自ら立て、具体的な推進活動、イベント活動、広報活を数多くの事例を交えながら熱心にお話いただきました。
2012 年度は QC サークル活動が９年目に突入し、社内外のいろいろな変化の中で、「第二のスタートライン」として今後も QC サークル活動の基本理念を忘れず、取り組んでいくという決意が述べられました。

## 司会・まとめ

**中央大学 理工学部 教授 中條 武志 氏**

本研修会の総合司会は中央大学理工学部教授の中條武志氏にご担当いただきました。
今回の研修会は、深澤氏の講演「QC サークル活動の推進と指導士の役割」とお三方の指導士としての奮闘ぶりを「QC サークル指導士奮闘記」として、ご発表いただき、指導士として奮闘ぶりを、その後会場全体で活発なディスカッションが行われました。
最後に、講演と３つの実践事例を通して、QC サークル指導士としての多くの「気づき」があった内容であり、是非今後の指導･支援に活かしていただきたいとの中條氏の言葉で本研修会を終了しました。

## 情報交換会

研修会終了後に行われた情報交換会は、約 40 名の方のご参加をいただき、和気藹々とした雰囲気の中、情報交換会が行われました。
また、当日ご講演いただきました深澤行雄氏が 60 歳の誕生日を迎えられました。おめでとうございます！

皆様からご提出いただきましたアンケートでは、「深澤氏の講演は、大変興味深いお話であり、再認識させられる内容だった」、「発表では、社内各部署に広げるためのツールづくりの重要性を認識できた」、「各社によって様々な工夫や奮闘ぶりが伝わり、参考になった」など多くのご意見をいただきました。
今後も皆様のご要望にもお応えできるよう努力して参りたいと思います。次回のフォローアップ研修会にもご期待ください。

最後に、更なる QC サークル活動の発展のため、指導士の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

情報交換会

当日 1/28（土）に誕生日を迎えられた深澤氏

あいさつをいただいた市川享司氏

以上

（QC サークル指導士フォローアップ研修会 担当 永田 和範）